

テニスが
もっと
快適になる

From テニサポ

ストリングの基礎知識

57回
解説
CHALLENGE



野口大貴

(テニスサポートセンター 仙川店)

テニス14年。お客様に合ったセッティングを見つけます。ぜひ、お店に来てご相談ください」と語る。

知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられたストリングに関する素朴な疑問にプロのストリンガーが答えます。プレーの出来を左右するストリングについての知識を高めてください！

今月のお題

「1本張り」と「2本張り」の違いと「初めてナチュラルを使う時の注意点」

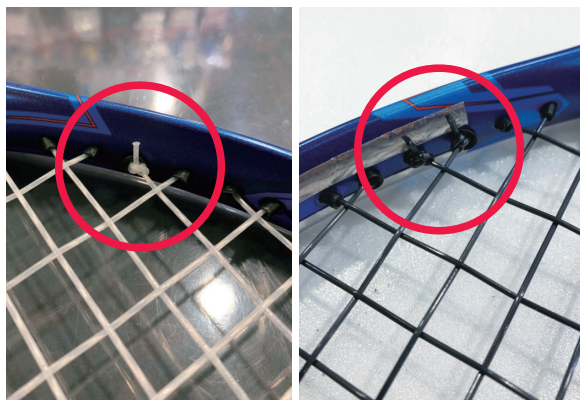
「1本張り」「2本張り」を使い分けるメリットはありますか？

(テニス歴5年/40代男性)

性能を引き出す1本張り
安定重視ならば2本張り

1本張りは、張り方のバリエーションが豊富です。「アラウンドワールド」や「ボトムアップ」などの張り方があり、ラケットごとに綺麗な形で張り上げられるので、技術のあるストリンガーに張ってもらうことで、ラケットの持ち味を引き出す

ストリング1本で張り上げる「1本張り」(写真左)と、縦と横で分ける「2本張り」(右)は用途に応じて使い分けるが、信頼できるストリンガーに相談しよう



ことができます。

それに対して2本張りは、1本張り比べ、張り方の手順が決まっていることから仕上がりが安定しやすいです。特に試合遠征が多い方は決まったストリンガーに張ってもらえない場合が多いので、お勧めの張り方です。

また、2本張りは1本張りで張った時よりもスイートエリアが広く、柔らかなフィーリングに仕上がるので、ボールが固く感じやすい冬季には最適な張り方です。

簡単にまとめさせていただくと「ラケットの特徴を引き出す張り方をしたい場合は1本張り」、「仕上がりの安定や感触の柔らかさを求めた場合は2本張り」がお勧めです。

ナチュラルストリングを一度使ってみたいと思っています。なにに注意するかなどありますか？

(テニス歴2年/50代男性)

普段よりも強めに張って
重さや保管方法にも注意

初めて、ナチュラルストリングに挑戦する場合、次の3点に注意してください。

まず1つ目は、テンションの設定です。現在、使用しているストリングの特徴や性質を考えた上でテンションを決める必要があります。ナチュラルはボールを飛ばしやすいナイロン素材のストリングより、反発力が強く、打球感は柔らかいです。普段、お使いのストリングのプラス5%~10%を目安に張っていただくことをお勧めします。

2つ目はストリングの比重です。ナチュラルは他のストリングよりも比重が重いです。ナイロンストリン



ナチュラルはナイロンやポリエステルと特性が違うのでストリンガーと相談した上で張ってもらおう

ポリの方がナイロンよりも 細いストリングが作れる？

作れます。現在市場に出回っている中で最細のストリングは、ポリエステルだと1.05mmゲージ、ナイロンだと1.10mmとなります。ポリエステルの方が固く細いストリングを作ることができます。ゲージ(太さ)を細くすると飛びやすく回転もかかってくるので、各メーカーが開発を進めています。



左がナイロンの1.10mm、右がポリエステルの1.05mmの極細ストリング

グが約15グラムに対して、ナチュラルは約18グラムと約3グラム重くなるため、ラケットのトップも少し重くなります。重さが気にならないければパワーアップにつながるのですが、少しでも軽いつトにもなるのですが、少しでも軽い方が良い方はゲージの細い1・25ゲージを選ぶと重さを軽減できます。そして3つ目は保管方法です。ナチュラルは雨や湿気に非常に弱いストリングです。そのため、保管方法には慎重にならなければいけません。ラケットビニールに乾燥剤を入れて保管することでストリングを長持ちさせることができます。

ナチュラルは張り手の技術も必要になってくるため、信頼できるショップに相談してください。

ストリン
都市
伝説